

総合案内フロアを大幅リニューアル！ 患者サービスの充実と地域医療連携の強化を図ります

横浜市立大学附属病院は、各種窓口を集約し、多職種による相談支援体制を構築することで患者サービスの充実を図るとともに、地域の医療機関との連携を強化するため、「患者サポートセンター」を開設しました。

～主な改修のポイント～

1. 多職種による入退院支援

看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、地域連携部門の事務職員などを同フロアに集約し、多職種が連携して患者さんを支援します。これにより、入院前の患者情報の聞き取りや入院に関する案内、退院後の療養、かかりつけ医の紹介など、入院決定時から退院後まで切れ目のないサポートが実現します。

【入院支援】



入院前の事前説明や生活環境の聞き取り、入院時に持参する薬剤の相談、手術に関する事前説明などを行います。

【療養相談・退院支



入院中や退院後の療養や生活に関する相談やがん患者さんの相談等、療養に関する相談を看護師や薬剤師、医療ソーシャルワーカー等多職種で対応します。

2. 地域医療機関との連携機能を強化

地域の診療所やクリニック、病院など他医療機関との円滑な連携を図るため、同フロアの地域連携室に連携機能を集約します。これにより、地域の診療所や病院からの患者紹介の受入れや、退院後の逆紹介等がスムーズに行われるようになります。

【地域連携室】



外来患者の紹介窓口、予約センター、地域連携担当を集約することで、患者サービスを向上するとともに他医療機関との連携を円滑化します。

お問い合わせ先

附属病院 医事課長 高橋正海 Tel 045-787-2806

【その他の主な窓口及び機能】



■ 総合案内コンシェルジュ
入口横のカウンターに
常駐し、患者案内に対応



■ 総合相談窓口看護師等による受診科相談、かかりつけ医のご案内、患者相談



■ 面談室
個別面談、患者会の開催、地域の関係機関とのカンファレンス等にも使用可

【概要】

運営開始：平成 30 年 2 月 26 日（月）



（患者サポートセンター見取り図）

